

VRやロボットを活かした先進のソリューションや、  
学校と家庭をシームレスにつなぐICTソリューションなど、3つのコンセプトエリア別に提案  
**「第14回 EDIX（教育総合展）東京」 シャープブースのご紹介**



ブース イメージ図

シャープは、5月10日（水）から12日（金）まで、東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催される「第14回 EDIX（教育総合展）東京」に出展します。「学ぶよろこび、楽しさを～新たな学びを創るシャープの教育DX～」をテーマに、先進のテクノロジーを活用した新たなICTソリューションを、3つのコンセプトエリア別に提案します。

■ 主な出展内容

1. 「STEAM※1 BASE」 エリア

VRやロボットなどのテクノロジーを活かしたICTソリューションを紹介。超軽量ボディで、長時間の講義や自宅学習でも疲れにくい「VRヘッドマウントディスプレイ」（参考出展）や、モバイル型ロボット「ロボホン」を使用して楽しく学べる「プログラミング+AI教育ツール」を体験いただけます。学校向け電子黒板「BIG PAD Campus」の新モデルも初披露します。



VRヘッドマウントディスプレイ

2. 「Next GIGA」 エリア

“1人1台”の学習用端末を活かした学習体験を実現する教育ソリューションを紹介しします。デジタル教科書と連携した診断補充型教材により、児童・生徒一人ひとりの理解度に合わせた学びを支援する「STUDYTIME（スタディタイム）」や、学校と家庭間でのシームレスな学習活動を可能にする「STUDYNOTE（スタディノート）」を出展。学校指定端末を学生個人が購入し、授業に活用するBYAD※2を支援する斡旋販売サービスも提案します。

3. 「Well-being」 エリア

学校、家庭、地域の安心・安全のためのソリューションを出展します。消費電力0W※3での表示保持が可能な電子ペーパーディスプレイを活用した災害時向けサイネージのほか、深部体温の上昇を検知する腕時計型デバイスと当社独自開発の「適温蓄冷材」を組み合わせた暑熱対策ソリューション（参考出展）を展示。また、児童・生徒の教育相談における情報管理により、職員の業務負荷を軽減する教育相談システムを紹介しします。



42型モノクロ電子ペーパーディスプレイ

■ 出展場所：東京ビッグサイト 西展示棟4ホール（4F）小間番号：21-34

- ※1 科学（Science）、技術（Technology）、工学（Engineering）、芸術・リベラルアーツ（Arts）、数学（Mathematics）の5つの領域を対象とした理数教育に創造性教育を加えた教育理念。
- ※2 Bring Your Assigned Deviceの略。端末の違いによる操作や表示の差異がなくなり、全員が同じ環境で学習することが可能。
- ※3 表示書き換え時には、電力を消費します。

●「スタディシリーズ」「ロボホン」および「BIG PAD」はシャープ株式会社の登録商標です。

出展商品やソリューションなどに関する情報は、以下のウェブサイトでもご覧いただけます。  
<https://smj.jp.sharp/bs/education/>  
「第14回 EDIX（教育総合展）東京」について  
<https://www.edix-tokyo.jp/ja-jp/about/edict.html>